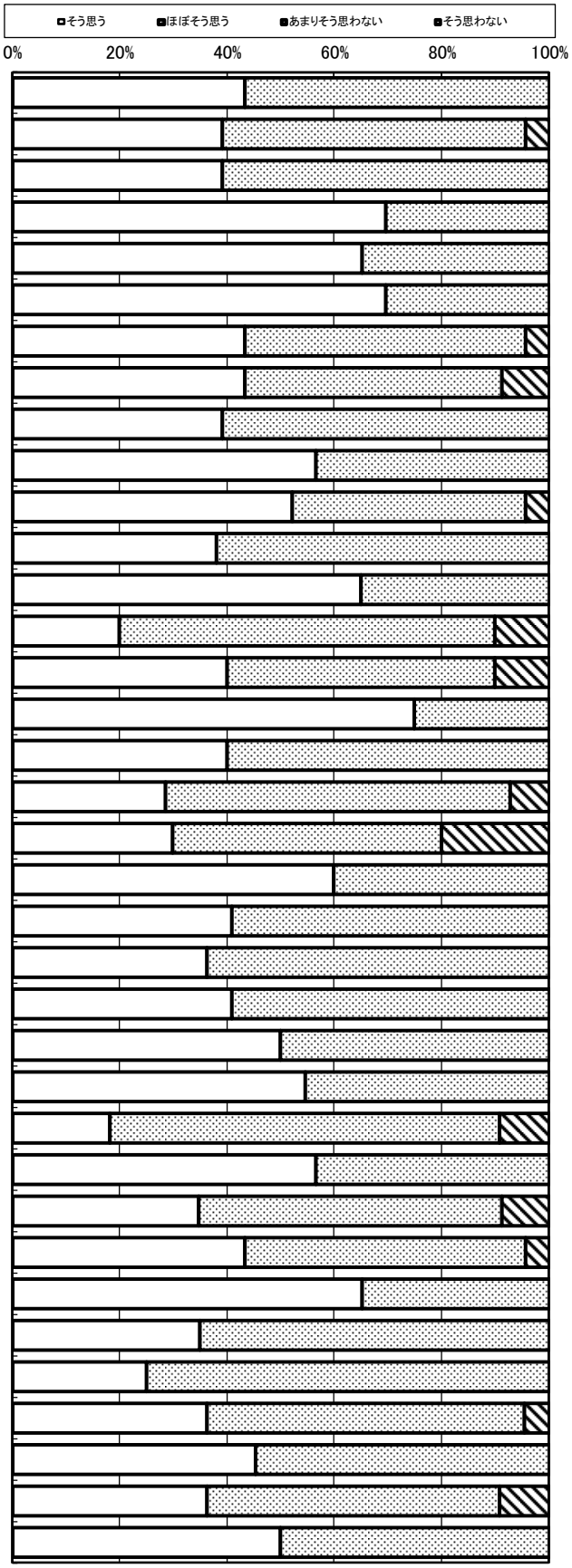
平成２６年度南アルプス市立白根百田小学校後期自己評価書

１　教職員による自己評価について（平成２６年１２月実施）

平成26年度職員自己評価集計結果2回目

平成26年12月25日集計

No.	区分	No.	評価項目
1	学校経営・学校運営	①	学校教育目標、めざす児童像を意識しながら、教育活動を進めている。
		②	さまざまな教育活動が、学校教育目標達成のため、具体的な見通しを持って行われている。
		③	教育課程や指導計画は、本校の実態に即したものとなっている。
		④	教育公務員としての自覚を持ち、職務に従事している。
		⑤	職員間の連携や協力体制がとれている。
		⑥	職員間での報告・連絡・相談を密にするよう努めている。
		⑦	児童や教職員の個人情報の管理を適切に行っている。
		⑧	教職員の適性・能力に応じた校務分掌の分担がなされ意欲的に取り組める環境にある。
		⑨	職員会議が情報交換と課題検討の場として有効に機能してる。
		⑩	学校行事は職員の共通理解の下に実施され、内容も適切である。
		⑪	教職員間の相互理解が十分になされ信頼関係に基づいて教育活動が行われている。
2	教科等の指導	①	児童が意欲的に取り組む指導内容・指導方法の工夫を図っている。
		②	教科の基礎的・基本的内容を確実に定着させようと努力している。
		③	個に配慮した授業を行っている。
		④	朝の学習（15分間）は、基礎学力の定着をめざしながら、効果的に実施している。
		⑤	宿題や家庭学習に対する指導を行っている。
		⑥	道徳では、生命尊重や思いやりの心を育てることを重視し、指導に努めている。
		⑦	総合的な学習では、ねらいをふまえた活動計画を立て、実践している。
		⑧	学級活動の指導に当たっては、児童の自主的・自発的な自治活動を意識して行っている。
		⑨	各教科等の授業時数を確保することに努力している。
3	生徒指導	①	あいさつや時間を守るなどの基本的生活習慣に関する指導を確実に行っている。
		②	児童が我慢強く、粘り強くやりぬくことを意識した指導を行っている。
		③	教師と児童の心の触れ合いを深めるための活動を通して信頼関係を強めることに努めている。
		④	家庭との連携を密にし、教師と保護者の信頼関係を築くよう努力している。
		⑤	教育活動全体を通して、学習・生活のルールやマナーを身につけさせるよう努めている。
		⑥	教職員の共通理解の中、学校の決まりや約束ごとの指導をし、成果が見られている。
4	安全管理	①	校舎内外の安全点検を計画的に実施することにより、危険個所・修理箇所の対応ができている。
		②	登校・下校時、または下校後の安全指導に配慮し、指導を行っている。
		③	施設・設備は安全に使用され、また活用されやすいように整備されている。
		④	緊急時の対応（防災・防犯）について共通理解が図られ、計画的に訓練がなされている。
5	研究・研修	①	研究会で話し合われた論理や方法、授業研究の成果を日常の実践に生かそうとしている。
		②	教材研究を積極的に行い、授業の改善・工夫に努めている。
6	保護者・地域との連携	①	授業参観・部会・学校公開は、学校との連携を深めるために、有効に活用されている。
		②	学校・学年・学級だよりなどにより、適時必要な情報提供を図っている。
		③	地域の人材や文化財・自然環境などを、積極的に教育活動に取り入れるよう努力している。
7	その他	①	清掃、花壇の管理、花作りなど、美しい環境づくりの推進に努めている。



区分	No.	評価項目	そう思う・ほぼそう思う		あまりそう思わない・そう思わない	
			1学期	2学期	1学期	2学期
学校経営・学校運営	①	学校教育目標、めざす児童像を意識しながら、教育活動を進めている。	100%	100%	0%	0%
	②	さまざまな教育活動が、学校教育目標達成のため、具体的な見通しを持って行われている。	100%	96%	0%	4%
	③	教育課程や指導計画は、本校の実態に即したものとなっている。	100%	100%	0%	0%
	④	教育公務員としての自覚を持ち、職務に従事している。	95%	100%	5%	0%
	⑤	職員間の連携や協力体制がとれている。	95%	100%	5%	0%
	⑥	職員間での報告・連絡・相談を密にするよう努めている。	100%	100%	0%	0%
	⑦	児童や教職員の個人情報の管理を適切に行っている。	100%	96%	0%	4%
	⑧	教職員の適性・能力に応じた校務分掌の分担がなされ意欲的に取り組める環境にある。	95%	91%	5%	9%
	⑨	職員会議が情報交換と課題検討の場として有効に機能してる。	100%	100%	0%	0%
	⑩	学校行事は職員の共通理解の下に実施され、内容も適切である。	100%	100%	0%	0%
	⑪	教職員間の相互理解が十分になされ信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	100%	96%	0%	4%
教科等の指導	①	児童が意欲的に取り組む指導内容・指導方法の工夫を図っている。	100%	100%	0%	0%
	②	教科の基礎的・基本的内容を確実に定着させようと努力している。	100%	100%	0%	0%
	③	個に配慮した授業を行っている。	76%	90%	24%	10%
	④	朝の学習（15分間）は、基礎学力の定着をめざしながら、効果的に実施している。	81%	90%	19%	10%
	⑤	宿題や家庭学習に対する指導を行っている。	100%	100%	0%	0%
	⑥	道徳では、生命尊重や思いやりの心を育てることを重視し、指導に努めている。	93%	100%	7%	0%
	⑦	総合的な学習では、ねらいをふまえた活動計画を立て、実践している。	92%	93%	8%	7%
	⑧	学級活動の指導に当たっては、児童の自主的・自発的な自治活動を意識して行っている。	75%	80%	25%	20%
	⑨	各教科等の授業時数を確保することに努力している。	100%	100%	0%	0%
生徒指導	①	あいさつや時間を守るなどの基本的生活習慣に関する指導を確実に行っている。	100%	100%	0%	0%
	②	児童が我慢強く、粘り強くやりぬくことを意識した指導を行っている。	100%	100%	0%	0%
	③	教師と児童の心の触れ合いを深めるための活動を通して信頼関係を強めることに努めている。	95%	100%	5%	0%
	④	家庭との連携を密にし、教師と保護者の信頼関係を築くよう努力している。	94%	100%	6%	0%
	⑤	教育活動全体を通して、学習・生活のルールやマナーを身につけさせるよう努めている。	100%	100%	0%	0%
	⑥	教職員の共通理解の中、学校の決まりや約束ごとの指導をし、成果が見られている。	89%	91%	11%	9%
安全管理	①	校舎内外の安全点検を計画的に実施することにより、危険個所・修理箇所の対応ができている。	100%	100%	0%	0%
	②	登校・下校時、または下校後の安全指導に配慮し、指導を行っている。	100%	91%	0%	9%
	③	施設・設備は安全に使用され、また活用されやすいように整備されている。	100%	96%	0%	4%
	④	緊急時の対応（防災・防犯）について共通理解が図られ、計画的に訓練がなされている。	100%	100%	0%	0%
研究・研修	①	研究会で話し合われた論理や方法、授業研究の成果を日常の実践に生かそうとしている。	89%	100%	11%	0%
	②	教材研究を積極的に行い、授業の改善・工夫に努めている。	100%	100%	0%	0%
保護者・地域との連携	①	授業参観・部会・学校公開は、学校との連携を深めるために、有効に活用されている。	100%	95%	0%	5%
	②	学校・学年・学級だよりなどにより、適時必要な情報提供を図っている。	94%	100%	6%	0%
	③	地域の人材や文化財・自然環境などを、積極的に教育活動に取り入れるよう努力している。	89%	91%	11%	9%
その他	①	清掃、花壇の管理、花作りなど、美しい環境づくりの推進に努めている。	95%	100%	5%	0%

学校評価教職員自己評価　課題と改善案

1　学校経営・学校運営	課題と改善案	③⑩今年度は体育館の工事があったため音楽集会がなくなってしまったが，代わりに行った「ハーモニーコンサート」はとてもよかったと思う。来年度もこの形でやりたい。（音楽集会を復活させると大変。学習が間に合わない可能性や定着が不十分になる可能性がある。） ⑧低学年は女性，高学年が男性という感じで偏りがある。高学年の先生方の分掌が重い気がする。
	対応	・音楽集会に限らず，いろいろな行事を固定観念にとらわれず，新しい発想で行っていく。児童に,やらされている感じを持たせずに，やりたいと思う気持ちをうまく利用するような形で。 ・仕事をチームで分け合う，やり方を変えていくなど，負担にならない工夫をする。
2　教科等の指導	課題と改善案	④朝学習では並行読書など国語科で授業時数にカウントできる内容もかなり（意図的に）扱ってきた。 ④読書が多かったので3学期は曜日ごとに内容を決めて，計画的に取り組みたい。 ④教師主導が多かった。もう少し子どもたちに委ねる場面を作りたい。 ⑥小笠原流礼法は，学年の学習内容が系統だててできるようになるとよいと思う。
	対応	・朝学習は，国語・算数を中心に，児童の興味関心に応じて幅を持たせながらマンネリ化しないように取り組む。
3　生徒指導	課題と改善案	①あいさつでの声の大きさ，言葉遣いなど，もう少し生活に基づき指導していきたい。 ⑤廊下を走ることは依然としてた成果は見られないように思う。「歩きましょう週間」などを設けて全校をあげて取り組むとよいと思う。 ⑤給食の身支度がクラスによって徹底されていない。集団下校の時刻や下校時刻が守られていない。子どもではなく担任の意識が低い。 ⑤「決まり」までではない約束事に対する共通理解を図るにはたくさん話をすることが必要だと考え，実行するように心がけている。 ⑤昨年度は掃除が早く終わっても1：35までは繰り返し掃除をするとか，教室内で過ごすとなっていたが，今は早く終われば遊びに出るクラスもある。 ⑤廊下を走らない，掃除の時間を守るなど基本的なことが守れていない。体育庫のドッジボールを蹴っているなど悪い見本を見せる高学年がいる。高学年としての自覚をもちよき手本となってほしい。 ⑥廊下を走らないように小さなワゴンが置かれ注意の言葉があるのがよかった。
	対応	・児童会や学級での積極的な取り組み，走りにくくする環境作り，注意を喚起する掲示，見かけたらその場で指導などありとあらゆる手立てを講じる。 ・給食着は，当番全員でそろってチェックする等，クラスごとやり方を考えて実行する。 ・掃除は15分間きちんとする。掃除用具などの片づけもきちんとする。「1：35までは遊びに出ない」を徹底する。
4　安全管理	課題と改善案	①体育館，ホール工事に関して，教頭先生が細かく連絡を取ってくれてわかりやすく安全に進められていると思った。 ②登下校については，時々様子を見て現場で指導した方がよいと思う。
	対応	・時々街頭指導をする。不定期に不特定の場所で抜き打ち的に。
5　研究・研修	課題と改善案	①中村先生や高井良先生の指導がとてもよかった。
	対応	・参考になる指導を，自分なりにアレンジして取り入れていく。
6　保護者・地域との連携	課題と改善案	①学年・学級部会に出席する顔ぶれはいつも同じ。 ①②学級懇談は参加者が少なく，学年便りでのさらなる呼びかけが必要だと思った。 ①登校時のトラブルは学校での指導だけだと対応しきれないことが多い。登校当番などの取り組みを視野に入れていくといい。 ③あまり取り入れていない。もう少しアンテナを高くしたい。
	対応	・魅力ある話題，事前の宣伝などアイデアを出して取り組んでいく。 ・登校班を決めるときだけだけでなく，年間を通して少しでも関わってもらう場を設定していく。 ・実際に利用した施設・人材などを蓄積して，施設バンク・人材バンク等の整備を進めていく。
7　その他	課題と改善案	・個別懇談の折に1：50完全下校のはずが2：00をまわってから下校のクラスがあり困った。兄弟関係や同一方面に帰る友人待ちもあるので決められた時刻を守ってほしい。 ・6年生は環境教育にも力を入れ，清掃活動も少しずつ取り組んだ。 ・掃除の時間の放送の音量が大きすぎて落ち着いて仕事ができない。無音でもいいくらいだと思う。 ・教務の先生方にたくさん助けていただき助かりました。 ・事務用品，教材補充が迅速でありがたい。 ・高学年の5・6年生がペア学年の下学年に掃除のアドバイザーとして数名出向き，いっしょにすると自覚や自尊心が生まれて，掃除をしっかりやろうとする気持ち，下学年とのよい交流が図られる。
	対応	・全体でそろって行動するときは教師が意識を高く持ち時間を守る。 ・掃除については，縦割り清掃など新しい方法を取り入れたい。高学年から低学年が学ぶ機会を作ることで，どちらにもメリットがある。

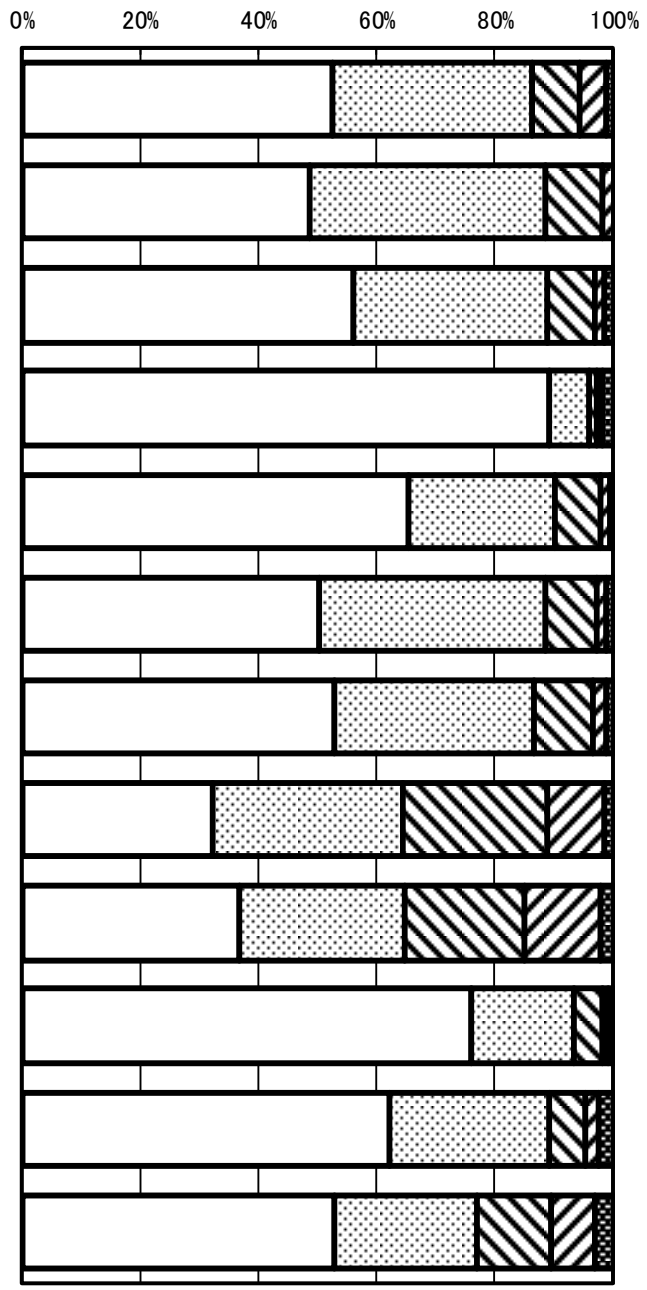
２　児童によるアンケート結果について（平成２６年１２月実施）

児童用アンケート集計結果

平成27年1月5日集計

アンケート対象:	378名
回収数:	370名
回収率:	98%

No.	項目
1	わたしは、学校へ行くことが楽しい。
2	わたしは、先生や友だちにしっかりあいさつをしている。
3	わたしは、朝学習に進んで取り組んでいる。
4	わたしは、運動会や音楽会にいっしょうけんめい取り組んだ。
5	わたしは、運動会や 音楽会で他の学年の発表のよいところに気づくことができた。
6	わたしは、家庭学習 （宿題など）をしっかり行っている。
7	わたしは、授業がわかる。
8	わたしは、授業でわからないことなどを先生に質問しやすい。
9	わたしは、自分で考えたことを、進んで発表している。
10	わたしは、友達と仲良くしている。
11	わたしは、友達にいやがることを言ったり、いやがることをしたりすることが最近ない。
12	わたしは、友達からいやがることを言われたり、いやがることをされたりすることが最近ない。



児童用アンケート集計結果（%）

平成27年1月5日集計

アンケート対象：	378名
回 収 数	： 345名
回 収 率	： 91．2%

	質 問 項 目		そう思う	ほぼそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
①	わたしは、学校へ行くことが楽しい。	H26 2学期	**52.6**	**33.6**	**8.1**	**4.6**	**1.1**
		H26 1学期	47.0	35.0	10.0	5.5	2.1
		H25 2学期	55.9	29.7	8.6	3.8	2.0
②	わたしは、先生や友だちにしっかりあいさつや返事をしている。	H26 2学期	**48.8**	**39.8**	**9.5**	**1.6**	**0.3**
		H26 1学期	60.0	30.0	6.8	1.5	1.2
		H25 2学期	48.4	35.8	10.8	2.3	2.8
③	わたしは、朝学習に 進んで取り組んでいる。	H26 2学期	**56.1**	**32.5**	**8.1**	**1.6**	**1.4**
		H25 2学期	52.6	35.0	7.1	2.5	2.5
④	わたしは、運動会にいっしょうけんめい取り組んだ。	H26 2学期	**89.2**	**6.8**	**1.4**	**0.8**	**1.9**
		H25 2学期	82.1	13.4	2.8	1.0	1.0
⑤	わたしは、家庭学習 （宿題など）をしっかり行っている。	H26 2学期	**65.6**	**24.7**	**7.6**	**1.6**	**0.5**
		H26 1学期	69.0	19.0	8.0	2.4	2.1
		H25 2学期	68.3	21.9	6.0	2.8	0.8
⑥	わたしは、授業がわかる。	H26 2学期	**50.1**	**38.2**	**8.7**	**1.6**	**1.1**
		H26 1学期	52.0	35.0	7.6	2.8	2.1
		H25 2学期	57.7	31.7	7.8	1.5	1.3
⑦	わたしは、先生の話や友達の話をしっかり聞いている。	H26 2学期	**52.8**	**33.9**	**10.0**	**2.2**	**1.1**
⑧	わたしは、授業でわからないことなどを進んで質問している。	H26 2学期	**32.5**	**32.2**	**24.4**	**9.8**	**1.4**
		H26 1学期	37.0	29.0	20.0	12.0	2.2
		H25 2学期	42.3	29.7	16.1	8.3	3.5
⑨	わたしは、自分で考えたことを、進んで発表している。	H26 2学期	**36.9**	**27.9**	**20.3**	**12.7**	**2.2**
		H26 1学期	29.0	33.0	22.0	13.0	3.4
		H25 2学期	41.1	29.5	15.6	12.3	1.3
⑩	わたしは、友達と仲良くしている。	H26 2学期	**76.2**	**17.6**	**4.6**	**1.1**	**0.8**
		H26 1学期	70.0	25.0	4.0	0.9	0.9
		H25 2学期	76.6	17.1	3.3	1.8	1.3
⑪	わたしは、友達にいやがることを言ったり、いやがることをしたりすることが最近ない。	H26 2学期	**62.3**	**26.8**	**6.2**	**2.2**	**2.4**
		H26 1学期	66.0	26.0	4.9	2.1	1.2
		H25 2学期	63.2	26.7	5.8	1.5	2.8
⑫	わたしは、友達からいやがることを言われたり、いやがることをされたりすることが最近ない。	H26 2学期	**52.8**	**24.1**	**12.7**	**7.3**	**3.0**
		H26 1学期	59.0	25.0	8.0	6.4	2.1
		H25 2学期	50.9	24.7	15.4	7.6	3.0

児童アンケートまとめ（２学期）

平成２７年　１月　６日

学校に行くのが楽しい（N0,1）

・学校に行くのが楽しいと答えた子が８６．２％で、１学期の８２％より少し増えた。毎日の学習や運動会などの行事、友だちとの活動等を通して共感できたり、達成感を味わったり、共に活動する楽しさを感じたりできたのかもしれない。各行事や各学級の取り組みの成果だと考えられる。
・反面、１２．７％の児童は、あまり思わない、そう思わないと回答しており、３学期、これらの子どもたちに寄り添いながら働きかけを考えていくようにしたい。

あいさつへの取り組みについて（NO.２）

・１学期はあいさつをしているが９０％だったが、２学期は８８．６％と下がった。特に、「そう思う」の６０％が４８．８％と減ってしまった。2 学期になって「そう思う」の数値が大きく下がる傾向は、過去 3 年間同じである。
「心のリボン」の運動で、６．５．４．３年生とリレーしながらあいさつを促す声掛けに取り組んできたが、自主的にあいさつする習慣が身に付くよう 3 学期も引き続き継続した取り組みが必要と思われる。これまでのように教師もあいさつの声をたくさんかけていくようにしたい。
・職員室前を通る児童は、毎日あいさつをよくしているが、子ども達同士であいさつを交し合ったり先生方に進んであいさつしたりする子が少ないように思う。馴れ合いにより挨拶が減っている感もあり、一人一人を喚起する取り組みの必要を感じる。

朝学習について（NO,3）

・８８．６％が自主的に取り組んでいると回答しており、昨年（８８．７％）と同じ傾向である。読書であったり、学習を定着させるためのプリント学習であったりするが、今後もそれぞれの学級でさらに朝学習が定着するように、指導していきたい。また、開始時刻になったら自主的に始められるように、取り組み内容について、予め子供たちに確認をしておくことは今後も続けていきたい。
・朝学習（読書）の時に読む本がない子もいるが、事前に図書館の本を借りることを促す声かけをさらにしていきたい。（今後も続けて 5 冊貸し出しもよいのでは）

運動会への取り組みについて（No.4,）

・９６％の児童が一生懸命取り組んだとしており、子どもたちの取り組みの一生懸命さが感じられる。各学年の競技、ブロックの表現、縦割りの取り組み等多くの子どもたちが達成感を感じられたと思われる。
・競技や表現の内容、取り組み方を今後も工夫したりしながら進めていくようにしたい。運動会の取り組みが上級生へのあこがれの気持ちや、仲間を認める気持ちを育てるよい機会になっていくと思われる。

家庭学習について（No,５）

・「しっかり行っている」と答えた子が、９０．３％で、１学期に比べ、達成率が少し増えている。（１学期　８８％）学校・学年・学級通信等で家庭へ協力を呼びかけたり成果もあると思われる。今後も家庭学習の大切さを繰り返し伝えていきたい。

授業がわかる（NO.６）

・授業が分かると答えた児童が８８．３％と１学期（８７％）より上がった。
ＴＴや個別指導、補習なども功を奏しているのではないかと思う。
校内研での取り組みの成果もあると思うので、今後も取り組みの様子を共有し合いながら子どもたちが「わかる」楽しさを感じられるようにしていきたい。

話をしっかり聞いているか（NO.７，８，９）

・８６．７％がしっかり聞いていると答えている。多くの子が一生懸命聴いて学習している。校内研究でもこの点を大切にしているので、今後さらに成果を伸ばしていけるよう、雰囲気づくりや、内容、学習課題の提示の仕方等考えていきたい。

友達と仲良くしているか（NO.１０）

・仲良くしていると答えた子は、９３．８％と高い割合であった。「あまりそう思わない」「そう思わない」と答えた５．７％が減るような手立てを考えていく必要がある。どの子も友達と仲良く明るく元気に学校生活を送ってくれることを願っている。

友だちとの関わり合いについて（No.１１.１２）

・嫌がることをされたり、言われたりすることがあると答えた児童が増えている。（２学期　２０％、１学期　１４．４％）１学期よりもお互いの関係が深まってきている反面相手のことを余り考えずに言葉や行動を発していると思われる。特に、「そう思わない」と答えた子（７．３％）については、３学期初めに注意して観察したり、場合によっては面接したりし、詳しい状況を調べ何らかの手立てを講じていくようにしたい。また、「オレンジの言葉」の取り組みを継続し、相手のことを思いやる態度を身につけさせていきたい。
・No.１１と No.１２を比べてみると、嫌なことを言ったり、したりしているつもりはないが、受け取る側は、嫌だと感じているというズレがある。そのことを、引き続き根気よく児童に伝え、気づかせていくようにしていくことが必要だ。

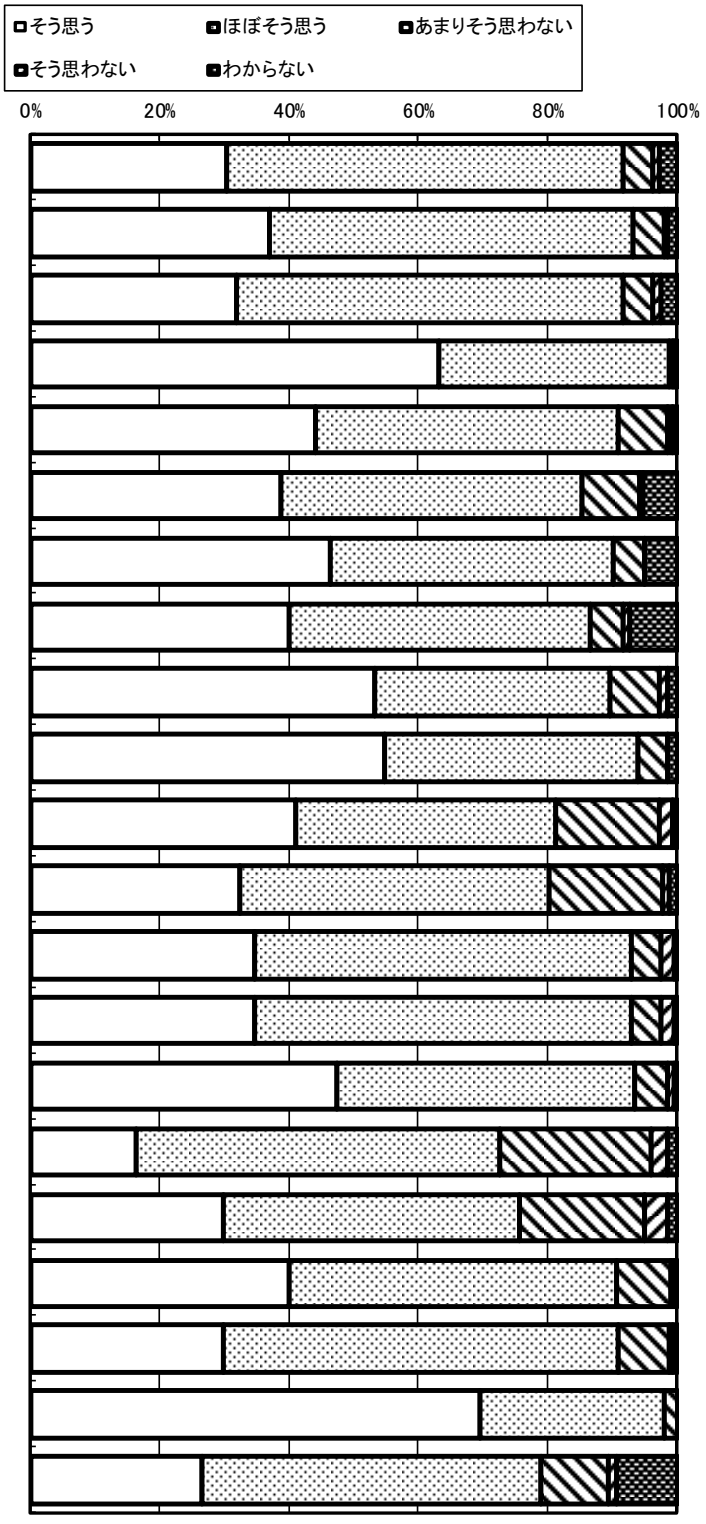
3　保護者によるアンケート結果について（平成２６年１２月実施）

『白根百田小学校教育についてのアンケート』集計結果

平成26年12月25日集計

アンケート対象：	378 人（全児童保護者）
回　収　数 ：	330 人
回　収　率 ：	87.3%

		質　　問　　項　　目
学校の教育活動について	1	学校は，保護者に教育目標や教育方針を伝えている。
	2	学校では，特色ある教育活動を進めている。（朝学習，縦割り班活動，体験活動など）
	3	学校は，生命を大切にする心・思いやりの心や社会のルールを守る態度を育てている。
	4	学校は，授業参観や学校開放等で，子どもの様子を見る機会を設けている。
	5	学校，学年・学級からのお便り等で，学校の様子がよくわかる。
	6	先生は，基礎基本の徹底や学習のつまずきなどに積極的に取り組んでいる。
	7	先生は，保護者からの相談に適切に対応してくれる。
	8	先生は，子どもの話をよく聞き,よく理解してくれる。
子どもの様子	1	子どもは，学校に行くのを楽しみにしている。
	2	子どもは，友だちと仲良く生活している。
	3	子どもは，学校のことをよく話す。
	4	子どもは，学習がわかり，基礎学力が身についている。
	5	子どもは，地域・家庭で進んであいさつをしている。
保護者御自身について	1	学校からの文書やお便りなどはよく読んでいる。
	2	授業参観や学校行事には積極的に参加している。
	3	子どものしつけや基本的生活習慣に注意を払っている。
	4	子どもの様子に変化があれば，すぐに先生に知らせ，相談している。
	5	子どもに，学校のことや出来事をよく尋ねる。
	6	子どもの話をよく聞いてあげている。
	7	家庭内で「おはよう」「おやすみ」等のあいさつがされている
	8	機会があれば，ボランティアとして教育活動の支援をしてもよい。



			そう思う・ほぼそう思う		あまりそう思わない・そう思わない		わからない	
		質　問　項　目	1学期肯定	2学期肯定	1学期否定	2学期否定	1学期肯定	2学期肯定
学校の教育活動について	1	学校は，保護者に教育目標や教育方針を伝えている。	90.2%	91.8%	4.9%	5.5%	4.9%	2.7%
	2	学校では，特色ある教育活動を進めている。（朝学習，縦割り班活動，体験活動など）	91.8%	93.3%	6.2%	5.2%	1.6%	1.5%
	3	学校は，生命を大切にする心・思いやりの心や社会のルールを守る態度を育てている。	90.5%	91.8%	7.9%	5.8%	1.6%	2.4%
	4	学校は，授業参観や学校開放等で，子どもの様子を見る機会を設けている。	98.4%	98.8%	1.0%	0.9%	0.7%	0.3%
	5	学校，学年・学級からのお便り等で，学校の様子がよくわかる。	90.8%	90.9%	8.2%	8.5%	1.0%	0.6%
	6	先生は，基礎基本の徹底や学習のつまずきなどに積極的に取り組んでいる。	83.9%	85.5%	8.5%	9.4%	7.5%	5.2%
	7	先生は，保護者からの相談に適切に対応してくれる。	92.5%	90.3%	3.0%	4.8%	4.6%	4.8%
	8	先生は，子どもの話をよく聞き,よく理解してくれる。	86.6%	86.7%	7.9%	6.1%	5.6%	7.3%
子どもの様子	1	子どもは，学校に行くのを楽しみにしている。	90.5%	89.7%	8.9%	8.8%	0.7%	1.5%
	2	子どもは，友だちと仲良く生活している。	93.1%	93.9%	5.2%	4.5%	1.6%	1.5%
	3	子どもは，学校のことをよく話す。	86.6%	81.2%	13.1%	18.2%	0.3%	0.6%
	4	子どもは，学習がわかり，基礎学力が身についている。	79.0%	80.3%	19.7%	18.5%	1.3%	1.2%
	5	子どもは，地域・家庭で進んであいさつをしている。	95.7%	93.0%	4.3%	6.7%	0.0%	0.3%
保護者御自身について	1	学校からの文書やお便りなどはよく読んでいる。	95.7%	93.0%	4.3%	6.7%	0.0%	0.3%
	2	授業参観や学校行事には積極的に参加している。	95.1%	93.6%	4.6%	6.1%	0.3%	0.3%
	3	子どものしつけや基本的生活習慣に注意を払っている。	74.4%	72.7%	20.3%	25.8%	5.2%	1.5%
	4	子どもの様子に変化があれば，すぐに先生に知らせ，相談している。	78.4%	75.8%	19.3%	22.7%	2.0%	1.5%
	5	子どもに，学校のことや出来事をよく尋ねる。	93.4%	90.6%	6.6%	9.1%	0.0%	0.3%
	6	子どもの話をよく聞いてあげている。	94.1%	90.9%	5.6%	8.5%	0.3%	0.6%
	7	家庭内で「おはよう」「おやすみ」等のあいさつがされている	95.7%	98.2%	4.3%	1.8%	0.0%	0.0%
	8	機会があれば，ボランティアとして教育活動の支援をしてもよい。	78.7%	79.1%	14.8%	11.5%	6.6%	9.4%

≪考察≫　平成２６年度　保護者アンケート２学期

１　アンケート全体より

○　１学期と数値的にはほぼ同じであり，肯定的な回答が８０～９０％を占めている。特に「学校の教育活動について」の項目全体に若干の伸びが見られ，保護者は学校教育に対しては理解を示してくれていると考えられる。肯定的な回答が８０％を下回るものが１学期の４問から３問に減った。

＊肯定的な回答が８０％未満の質問

3-4「子どもの様子に変化があれば，すぐに先生に知らせ，相談している」…75.8%(前回 78.4%)

3-3「子どものしつけや基本的生活習慣に注意を払っている」……72.7%(前回 74.4%)

3-8「機会があればボランティアとして教育活動の支援をしてもよい」……79.1%（前回 78.7%)

２　学校の教育活動について

○　「そう思う・ほぼそう思う」の肯定的な回答で全８項目のうち７項目に伸びが見られた。これは，次のような理由が考えられる。

＊学校だより，各学年・学級通信，学校メール等で学校の様子や方針をタイムリーに伝えていることが保護者に浸透している。

＊朝学習や授業に，全国学力テスト，学力把握調査などの結果に基づいた基礎基本的学習事項の指導を継続的に行ったことやティームティーチングの充実が考えられる。

＊放課後に気になる児童宅に電話し，保護者との意思疎通があること，素早い電話連絡，連絡帳，保護者との面談等，連携を密にしていることで，保護者と担任教師の人間関係が築かれているのではないか。

３　子どもの様子について

○　大きな変化あまり見られず，ほぼ前回同様であるが，伸びがみられた項目として，

＊2-2「子どもは友だちと仲良く生活している」の回答は 94%と高く，保護者が子どもの友人関係におおむね満足していることが伺える。

＊2-4「子どもは，学習がわかり，基礎学力が身についている」の回答は 80%以上が「そう思う・ほぼそう思う」と，肯定的であった。校内研究会の授業研究の充実や日々の授業実践の中で基礎学力の向上を重視して取り組んでいる成果の表れだと考える。

４　保護者自身について

○　８項目中２項目で肯定的回答に若干の伸びが見られるものの，６項目は減少している。保護者自身が厳しく自己評価していることから，学校側からも「家庭でのしつけ」について保護者への啓蒙や問題提起などのアプローチが必要かと思われる。

＊伸びが見られた項目として 3-7「家庭内で「おはよう」「おやすみ」等のあいさつがされている」　が 98.2%と高く，家族ぐるみでのあいさつが行われていることが伺われる。

＊減少した項目で 70%台は，１学期と同様 3-3「子どものしつけや基本的生活習慣に注意を払っている。」72.7%(1.7ﾎﾟｲﾝﾄ減)である。学用品や上履き忘れが後を絶たない状況も一つの表れではないだろうか。また，「子どもの様子に変化があれば，すぐに先生に知らせ，相談している」も若干低くなっているので学校からの継続的な連携をし，信頼関係をつくっていくことが必要だ。

まとめ

保護者は

① 学校が積極的に行っている情報公開や，学級や個々の学習面での課題に基づいた日々の取組，担任の児童への丁寧な対応について理解を示している。

② 「子どものしつけや生活習慣にあまり気を付けていない」保護者もいる。家庭学習についての調査結果を保護者に伝え，家庭学習の習慣を身に付ける取り組みを始めているが，家庭学習の取組を契機にしつけや基本的生活習慣の定着を図りたい。また，「子どもの様子に変化があってもあまり先生には知らせようとしない」保護者も存在しているので何でも相談できる保護者との信頼関係づくりを図りたい。